

「返子市こども計画」案に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 令和7年1月20日(月)～2月25日(火)

2. 意見の数 17件

3. 意見提出人数 10人(郵送0人、FAX0人、メール7人、持参3人 / 個人9人、団体1件)

4. 意見内容の概要

区分	件数
素案に対しての概ね評価する意見	2件
素案に対して修正を求める意見	11件
この計画の対象ではない意見	4件
合計	17件

5. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	0件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	3件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	10件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	0件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	4件
	合計	17件

6. 意見の内容と市の対応

意見概要	整理番号	意見内容	採否	意見数	採否の理由
素案に対しての概ね評価する意見	1	こどもが生まれ 育つ環境を社会全体で支えていくための計画が、こどもたちの意見もききながら作られ、実施されようとしていることをたいへん嬉しく思います。基本目標1～5すべて賛同します。その他、●全体的に冗長で、読みにくく内容が分かりづらいです。重複している文章を簡潔にしたり、図やグラフをもっと厳選していただくか、別途添付という形式にさせていただいた方が良いのではないのでしょうか。●計画(案)も、こどもが読んでも理解できるよう、パブリックコメントと同様にやさしい言いまわし版の作成をお願いします。	□	1件	【計画案全体】 第2期の計画に比べて、重要な部分を前半に記載し、根拠となるデータ等は後半に記載する等の工夫を凝らしましたが、それでもやむを得ず長くなってしまっている部分があることは理解しております。 簡易版については今後の検討とさせていただきます。
	2	「不登校」は増加し続け、「不登校」の問題に具体的にどう対応するのか、各自治体に大きく問われていると思います。 「不登校」の状態にあるこどもたちの学びの場を整えることは急務です。 「逗子市こども計画案」には、取り組みの柱「7 不登校・ニート・ひきこもり等のこども・若者への支援」に、「フリースクール等に通うこどもへの支援・市内のフリースクール等事業者やフリースクール等連絡協議会と連携して、こどもの居場所づくりの充実化を図ります。」とありますが、これは自治体として重要な取り組みです。 逗子市での取り組みが、他自治体に先駆けてすすんでいくことに期待しています。	□	1件	【計画案P30、38】 少しでもご期待に沿えるよう努めます。
素案に対して修正を求める意見	3	「外国につながる子ども支援」を具体的に入れてください。言葉や生活習慣の違いは、妊娠そして乳幼児期からはじまり、成長に伴って様々な困り感が生じると思われます。保護者や子ども本人が安心して暮らせる逗子市であって欲しいと思います。	■	1件	【計画案P28】 計画案P28「2 すべてのこどもを受け入れる環境づくり」において、外国籍のこどもの支援について記載しております。より具体的な支援については、今後の課題とさせていただきます。
	4	▼一年生クライシス解消のため、幼保小連携により一層力を入れる自治体に！ →現在は、幼稚園保育園勤務の先生が小学校を訪問する機会はあるが、一年生を担当する教員が幼稚園保育園を訪れ、年長児の園生活に触れる機会がない。いじめなどの理由がなくとも、大きな環境の変化に馴染めず学校に行かなくなる一年生が多いことに大人側が真正面から向き合う必要があるのではないかと。 一年生の教員と幼保保育士の横のつながりがあれば、困りごとを抱えた児童の理解に皆で向き合うことができるのでは？	■	1件	【計画案P30、41】 従前から担当となる小学校の教員が幼稚園、保育所を訪れ、情報の共有を図ったり、幼稚園、保育所の職員と小学校1年生以外の教員も含めて連絡会を行う等、連携を図っており、今後の参考とさせていただきます。

素案に対して修正を求める意見	<p>5 私自身、子育て経験者として子どもをとりまく環境の大切さをつくづく感じています。私の提案は、経産省「未来の教室」の一環としてやられている事業である「放課後探究教室」を是非逗子でも実施してほしいということです。</p> <p>この「放課後探究教室」では</p> <p>①放課後の子どもの居場所 ②不登校支援 ③不登校の親の支援 ④子育て(学び)を通して人と人(親)がつながる機会 ⑤子供をとりまく大人の視点を変える ⑥発達障害支援 ⑦経済格差による教育格差をなくす</p> <p>など期待でき、小学校1年から中学3年生まで様々なバックグラウンドを持った子が、同じ授業を同じ場所で楽しむことができる教室です。</p> <p>なぜこちらを提案したかという点、わが子が完全不登校となり、「驚きと感動の種をまき一ひとりひとりの探究心に火をつける興味開発型の学び舎」である探究学舎(「放課後探究教室」の講師が経営している教室)に薬をもつかも思いで参加しました。そこでは、学校に行っている、行っていない、発達に問題があるない、学年、性別に関係なく、子どもから大人まで一緒にわくわく楽しむ授業を経験しとてもびっくりしたのを覚えています。</p> <p>実際現在も、この教室へ参加していた保護者の方々が、この事業を自分たちの地域で実施したいと各市町村に提案、試験的に実施しています。</p> <p>学びの内容もちろん工夫された素晴らしいものですが、私が一番大切だと思うのは、評価をせず、差異を楽しむという探究学舎の考えを元に、地域のボランティアを巻き込んで行うファンリテーター育成が、子どもをとりまく大人の考えを変え、逗子の子どもたちが安心して活き活きしてくると思っています。</p> <p>今後、「放課後探究教室」導入の予算を検討していただければ可能性がありましたら、初年度は私たち市民ボランティアで経産省の補助を頂き、試験的に「放課後探究教室」を実施させていただき、その子どもたち、大人たちの様子を見て導入の可否の判断をしていただく形でもかまいません。</p> <p>すでに鎌倉市では導入しており、学童にて実施しています。</p> <p>何か大きく変える時には、外部リソースをうまく利用する事が大切だと考えています。</p> <p>是非ご検討の方、よろしく願いたします。</p>	■	1件	【計画案P30】 今後の取組みの参考とさせていただきます。
	<p>6 子供の医療証サイズを、マイナンバー等と同じカードサイズにして欲しい。</p>	■	1件	【計画案P34】 今後の取組みの参考とさせていただきます。
	<p>7 室内の遊び場、公園を作ってもらいたい。</p>	□	1件	【計画案P36】 ご意見の主旨は計画案(P36子どもの遊びの場づくり)に盛り込まれているものと考えますが、具体的な整備に関しては今後の参考とさせていただきます。
	<p>8 ▼「ボール遊び禁止」ではない広場を確保する自治体に！ →池子の森の谷戸など普段利用者のいない場所から順に、最大限子どもたちに開放していく。</p>	■	1件	【計画案P36】 今後の取組みの参考とさせていただきます。
	<p>9 ▼地域の多様な子どもの居場所を確保する自治体に！ →そのために、第一運動公園スマイルを(川崎夢パークのような意味づけをしながら)整備していく、学校内の虹色の部屋に有給の教員を配置する、市内外のフリースクールとの連携を行うなど具体的に動いていく。</p>	■	1件	【計画案P37】 今後の取組みの参考とさせていただきます。
<p>10 保育園、幼稚園ともに、それぞれかなり独特なところが多く(立地、経営者等)普通に預けられるところが少ないと感じる。さらに、保育園は抽選制のため、どこに入るかわからないという不安がある。実際通える保育園が1箇所しかなくても、希望園を一つしか書かないと落ちてしまう。かといって、二つ以上かくと、通えない園に決まってしまう可能性があるというのがとても不自由だと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が運営することも園を各地域に一つずつ作って欲しい。 ・抽選制ではなく、保育園と保護者が話して入る園を決め、市に報告する形にしてもらいたい。 	■	1件	【計画案P40】 今後の取組みの参考とさせていただき、地域のニーズ等を踏まえながら必要に応じて検討させていただきます。 <p>なお、本市の認可保育所の入所は、現在、抽選制ではなく、「逗子市保育の利用調整の基準に関する要綱」に基づき入所選考を行っております。</p>	

	11	基本目標4の教育・保育の質の向上のために、予算の確保も重要だと考えます。取組み内容に入れていただきたいです。	■	1件	【計画案P40、41】 計画案に記載した事業について、運営に必要な予算は確保していくことを言外に謳っていることとなります。また、予算をかけなくても可能な場合は必要に応じてできる範囲で取組んでまいります。
	12	基本目標5について、学校、子育て支援センターの他に、保護者の方が子育てを学べたり、相談できたりする施設も検討いただきたいです。	■	1件	【計画案P42】 今後の施設配置の参考とさせていただきます。
	13	市内に授乳室、おむつ替えできる場所が少ないので、増やしてもらいたい。	■	1件	少しでもご期待に沿えるよう努めます。
この計画の対象ではない意見	14	▼一人ひとりの子どもの個別最適化をできる限り実現するため、30人学級の実現を目指す自治体に！ →30人学級が難しければ、低学年クラスへの加配などを検討していく	◆	1件	学級編成について、国で定められた基準に基づいて適切に判断してまいります。また、適正規準を国に求めていきます。
	15	幼稚園の問題等に、市から指導できるシステムを作ってもらいたい。	◆	1件	関係法令等に基づき適切に対応してまいります。
	16	「文化・芸術」の項目を作ってください。子ども達に音楽や演劇など良質な生の舞台を鑑賞する機会の保障をお願いいたします。逗子のホールなど身近な場所で、子ども達がワクワクする文化芸術体験は子ども一人一人の身心を豊かにする力になると思います。様々な格差が生まれている時代です。文化・芸術に対する公けの目配りが大切だと思います。	◆	1件	こどもの「文化・芸術」に関することは、逗子市文化振興基本計画P12に「子どもたちの文化創造体験の拡充」として計画していますので、関係所管課と協力して進めていきます。
	17	各支援には適切な「おとなの力」が必要です。特に市の職員の力は民間へのフォローも含め重要です。職員の安定した雇用や研修に対して継続的な予算をお願いいたします。	◆	1件	市職員の研修含めた人材育成については、「逗子市人材育成基本方針」において定めていますので、関係所管課と協力して進めていきます。
合計			17件		